

複数材料の同時固定実現

榮精機 放電加工用新型治具を開発

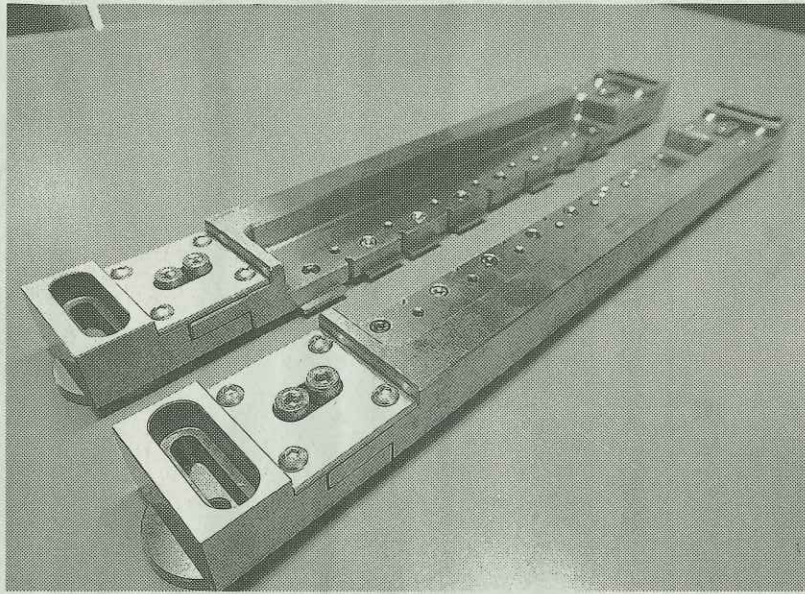
作業時間 短縮 連続操業可能に

治具製作などを手掛ける榮精機（本社豊川市伊奈町佐脇原68、塩野泰弘社長、電話0533・73・1190）は、ワイヤ放電加工の効率を高める新型の材料固定治具を開発し、発売した。これまでは材料を一つずつ固定して加工していたが、新型治具では複数の材料を同時に固定できる。作業者が材料を固定するのに要する時間を減らし、長時間にわたり連続してワイヤ放電加工機を操業させることができる。工場の省力化ニーズを取り込む狙いだ。

（豊川・勝又佑記）

ワイヤ放電加工機用の固定治具は、加工機内で材料を固定するのに使う。従来の治具は、材料の表面が傾いている場合に治具自体を

傾け、材料表面がワイヤに対し直角になるよう調整し、高精度に加工できるようにしていた。複数の材料を同時に固定



複数の材料を同時に固定できる新型治具

すると加工精度を損ねるため、材料を一つずつ加工する必要があった。材料の固定には数十分が必要で、生産性を向上する上での課題になっていた。

新型の治具は、材料の支持部分を上下させられる機能を備えた。複数の材料を同時に固定しても、材料ごとに傾き具合を調整できる。形状の誤差が千分の1〜2ミリの部品の加工にも対応できるという。

プレスや樹脂成型などの金型メーカーや、金型を内製している部品メーカーに売り込む。顧客の要望に応じ、治具の形状や長さも調整する。

同社の治具は「NEOTECH（ネオテック）」というブランド名で展開している。主要な構成部品の加工から研磨、組み立てまで一貫して行い、高い精度・品質の治具を供給している。

新会頭に聞く

―就任の抱負から。

「会頭就任に当たって『明るく元氣なワンチーム』づくりを掲げた。会議所メンバー

行政とのパイプづくりを進め、地域活性化のために声を上げ続けてこられた。こうした杉田前会頭の方針を継続する。昨年完成した西尾コンベンションホールを核に、駅前活性化を図りたい。―工業振興について。



真剣にゲームに取り

ピンチの 岡

静岡県は緑茶だけでなく紅茶も日本一の出荷量を誇る。国内の紅茶発祥の地、静岡市駿河区丸子で、一時は途絶えていた「丸子紅茶」の生産を復活させたことで知られるのが、農家の村松二六さん(79)。茶葉を乾燥させる際、焦げ付



●三河支社

岡崎市明大寺町 寺東5-3 鈴熊ビル

電話 0564(52)2260

FAX 0564(54)2336

●刈谷支局

刈谷市相生町2-11 佐藤会計ビル
電話、FAX兼用 0566(21)6106

●三遠支局

豊橋市萱町21 佐藤ビル3階
電話